

記入例

捨印（要望者の印）をお願いします。

印

【様式 1】

えびの市農業振興地域整備計画（農用地利用計画）変更要望書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

えびの市長 中山 義彦 様

【要望者】 住 所 えびの市大字栗下 1 2 9 2 番地

認印をお願いします。

氏 名 え び の 太 郎

印

法人の場合は、法人名及び
代表者名を記入する。

職 業 農 業

（年 齢： 〇〇 歳）

（☎〇〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇〇）

なるべく常時連絡
がつく番号を。

1 計画変更の概要

（1）計画変更の内容

（例 1）農家住宅建設のための農用地区域からの除外

（例 2）一般住宅建設のための農用地区域からの除外

（例 3）植林のための農用地区域からの除外

（例 4）農業用倉庫建設のための農業用施設用地への用途区分の変更

（例 5）中山間地域等直接支払制度対象地区のため農用地への用途区分の変更

（例 6）農業振興地域（白地）から農業振興地域（青地）への編入

（2）変更理由

（例 1）今後安定的な農業経営を行うため自己所有農用地近隣に農家住宅を建設するため。

（例 2）一般住宅の建設を検討していたところ、既存の住宅地に隣接した当該地が最適と考え一般住宅を建設するため。

（例 3）当該地は既存の山林に隣接し日照が悪く、また石が多く農機具を入れにくいことにより耕作が困難であるため、植林により土地を健全に保つため。

（例 4）今後安定的な農業経営を行うため当該地に農業用の倉庫を建設するため。

（例 5）中山間地域等直接支払制度の対象農地のため。

（例 6）将来的に安定的な農業を行うため。

（3）当該土地を選定した理由

（例 1）効率的な農業経営のため自己所有農用地近隣である必要があるため。

（例 2）既存住宅地と隣接し周辺農用地への影響が少ないと考えられるため。

（例 3）既存農用地の端部に位置し周辺農用地への影響が少ないため。

（例 4）自己所有農用地に隣接し効率的な農業経営が図れるため。

（例 5）中山間地域等直接支払制度の対象農地のため。

（例 6）将来的に安定的な農業を行うために最適な土地であるため。



変更を要望する土地の所在				面積 (㎡)	地目	所有権者			所有権以外の権利者			
大字または町名	小字	本番	枝番			住所	氏名	同意印	権利の種類	住所	氏名	同意印
栗下	中島	1292	1	200	畑	えびの市大字栗下 1292 番地	えびの太郎	印		えびの市大字栗下 1292 番地	えびの次郎	印
栗下	中島	1292	2	300	田	えびの市大字栗下 1292 番地	えびの太郎	印		えびの市大字栗下 1292 番地	えびの次郎	印

所有者の印鑑を忘れずに。
申請者と同一場合は同じ印鑑。

相続人、地上権、永小作権、質権、
使用貸借権のいずれかを記入。

所有者がお亡くなりの場合に代表相続人、
又は地上権、永小作権、質権、使用貸借権
がある場合に記入する。

3 代替地の検討結果

農業振興地域農用地から除外する場合があります。
※畜舎、農業用倉庫等の農業用施設は不要です。

捨印（要望者の印）をお願いします。

印

図面番号	所在地	所有者	地目	面積	交渉年月日	交渉の経緯及び結果
1	えびの市大字栗下 1292-3	えびの花子	田	300 m ²	令和2年 2月22日	申請者の自宅近隣であり、かつ農用地区域外（農振白地）であったため 売却をお願いしたが、売却の意思はないとのことであり断念した。

別に添付する図面と同じ番号を
記入する。

実際には併用することがほとん
どです。

代替地の検討については、最低でも
5か所記載が必要です。

- 注 1) 代替地の検討箇所について示した図面を添付する。（変更要望地の位置図を併用しても可）
2) 代替地は、農用地区域外（農振白地又は市街化区域）の土地を最低5箇所程度検討すること。



4 事業計画の概要

(1) 事業内容（施設の種類・規模等）

- (例1) 農家住宅 100 m²、農業用倉庫 50 m²、農機具回転場 20 m²
- (例2) 一般住宅 100 m²、駐車場 50 m²
- (例3) ヒノキ植林 100 m² (○本)
- (例4) 農業用倉庫 100 m² (トラクター、コンバイン、田植え機)

(2) 事業計画スケジュール

- (例) 農地転用許可後 1 か月で造成、3 か月で建築予定
- (例) 農地転用許可後 1 か月で造成、3 か月で建築予定
- (例) 農地転用許可後 1 か月で植林作業終了、半年ごとの下払い
- (例) 用途変更公告後 1 か月で基礎工事、2 か月で建築予定

(3) 資金調達計画

- (例) えびの市農業協同組合から借入 (○○資金○○円)
- (例) 住宅金融支援機構のフラット35を利用 (○○円)
- (例) 自己資金にて植林作業を行う (○○円×○○本=○○円)
- (例) 補助金及びえびの市農業協同組合から借入 (○○補助金○○円、○○資金○○円)

5 その他

(1) 付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要

- (例) 隣接する農用地に影響が出ないように下払い等定期的に行う。
- (例) 糞尿等の臭いが周辺の民家に影響を及ぼすことがないように適正に管理、保管する。
- (例) シルバー人材センター等に委託し、定期的な除草作業を行う。

(2) 土地基盤整備状況（戦後以降の圃場整備について記載）

- (基盤整備済みの場合の例) 昭和53年度県営圃場整備事業
- (基盤整備未整備の場合の例) 基盤整備未整備

(3) 雨水、汚水等の排水、処理方法（豪雨等の災害による影響を踏まえ、具体的に記載）

- (例) 排水のついては、通常は地下浸透による処理及び、外周に畦を設置し周辺への流出を防止するが、豪雨等による被害を想定し、事業計画地の外周に排水用のU字溝を設置し、排水を促進することで周辺の農地へ影響がないよう、万全を期す。
- (例) 太陽光発電施設設置にあたり、排水が東側、南側の農地に流出しないよう、斜面を作り、西側の既存の排水路へ流す。また、大雨による被害を軽減するために、排水枥を設置するとともに、排水枥に溜まった水が被害のない北側へ流れるよう排水路を設置する。
- (例) 今般事業は1haを超える林地開発許可を伴うため、宮崎県林地開発許可基準等に基づき、調整池等の助言・指導を受け、防災対策については万全を期す。

(4) その他参考となる事項

雨水・排水対策における各関係者等からの同意書
(農業用排水路や、その他施設等に影響がないように事前に同意を得るもの)

同意書

(土地改良区又は水利組合又は自治会等用)

要望者の氏名・住所を
記載及び押印

要望者 氏名 ○○○ ○○○ 印
住所 ○○○○○○○○

下記農地及び内容に基づくえびの市農業振興地域整備計画（農用地利用計画）の変更については、次により同意いただきますようお願いいたします。

記

【対象農地】

土地の住所	面積	現在の利用状況
えびの市大字○○字○○ ○○番	○○㎡	水田として利用

【目的・内容】

.....
.....
.....

【対策等】

.....
.....
.....

上記の者の要望に基づくえびの市農業振興地域整備計画（農用地利用計画）の変更については、次により同意する。

令和 年 月 日

団体等名称 _____

代表者住所 _____

代表者氏名 _____ 印

建物等の設置の際、隣接地の所有者や管理者からの同意書
(建物等の設置後にトラブルがないようにするもの)

同意書

(隣接地所有者用)

要望者の氏名・住所を記載

1 要望者 住所 _____
氏名 _____

2 要望内容 (変更内容)

3 要望に係る農用地

土 地 の 住 所	面 積	現在の利用状況
えびの市大字〇〇字〇〇 〇〇番	〇〇㎡	水田として利用

4 隣接地への被害防止措置の方法

上記の農地について、上記の内容により、えびの市農業振興地域整備計画（農用地利用計画）を変更することについては、別段不都合がないので同意します。

令和 年 月 日

1	隣接土地の所在	
	隣接者の住所	
	隣接者の氏名	印
2	隣接土地の所在	
	隣接者の住所	
	隣接者の氏名	印
3	隣接土地の所在	
	隣接者の住所	
	隣接者の氏名	印

要望者が農業経営者の場合、記載が必要です。

農業経営状況調査票

令和 年 月 日現在

申請人氏名		世帯員数	人
-------	--	------	---

●世帯員の状況（大学生及び高校生以下の生徒・児童は除く）

氏 名	年齢	性別	申請人との続柄	職 業	農業従事日数

●耕作面積

申請人の世帯における耕作面積（㎡）			申請人の権限に基づく耕作面積（㎡）		
自作地	田		所有権	田	
	畑			畑	
小作地	田		賃借権	田	
	畑			畑	
計			その他の権利		

●主要栽培作物名と作物面積

作物名	作付面積（a）	作物名	作付面積（a）

●家畜の種類と規模 ※規模拡大を目的とする申請の場合は増頭後の頭数を記載すること。

家畜の種類						
頭数	増頭前					
	増頭後					

●主要農機具等

トラクター	耕運機	田植機	コンバイン	トラック			
台	台	台	台	台	台	台	台

●主要農業用施設

牛 舎	豚 舎	農業用倉庫	ガラスハウス	ビニールハウス		
㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	